

第1学年 道徳学習指導案

日時 平成16年11月9日(火)授業

学級 1年2組 男13名 女11名 計24名

授業者 島山理映

総合単元名 あたたかいところをとどけよう

総合単元のねらい

誰に対しても温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。

総合単元的な道徳学習の構想について

この時期の子どもたちは、学校生活に慣れ、仲のよい友達もできて活発に遊ぶようになっている。また、友達に元気がないと励ましてあげるなど、やさしい気持ちをもっている。しかし、まだ自己中心的な行動が目立ち、自分のことに精一杯で相手にやさしく助け合うことができないときもある。よい人間関係や友達関係を築くには、やさしい気持ちをもってお互いを思いやり、親切にしていこうとする心情を育てることが大切であると思い、総合単元として「あたたかいところをとどけよう」を設定した。

子どもたちは、これまで帰りの会で「今日のはなまるさん」としてよかったことを発表し、積極的に友達のよさを見つけようとしてきた。本単元では、「出会う」の段階で、オリエンテーション「ともだちといっしょ」や集団遊びなどを通して、みんなで活動するよさについて方向づけをする。道徳の授業では、身近な友達への親切がよい友達関係を築いていくことに気づかせたい。「深める」の段階では、「親切の木」の取り組みを通してやさしさや助け合う活動を見つめさせ、友達に親切にしようという意識をもたせていく。道徳の授業では、相手の立場になって考え優しくしたり親切にしたりすることが、相手を快い気持ちにするだけでなく、自分にとっても喜びとなることに気づかせ、身近な人たちに思いやりをもって接していこうとする心情を育てていきたい。さらに「生かす」の段階では、幼稚園児との交流や家族を招待する収穫祭に取り組みさせていく中で、誰に対しても温かい心で接し、親切にしようとする実践な態度を身につけさせていきたいと考えた。

子どもたちの「思いやり・親切」にかかわっての実態について知るために、意識調査を行った。結果は、以下の通りである。

「思いやり・親切」に関する意識調査(調査人数：1年生49名)

1 人から親切にしてもらったことがありますか。

ある 47人 ない 2人

2 誰からどんなことをしてもらいましたか。(複数回答可)

<誰から> 友達 43人 家族 4人 先生 2人

<どんなこと> 物を持ってもらった 10人 けがをした時助けてもらった 7人
遊んでもらった 7人 片付けの手伝いをしてもらった 4人
勉強を教えてもらった 4人 励ましてもらった 3人 など

3 自分は誰かに親切にしたことがありますか。

ある 40人 ない 9人

4 誰にどんなことをしましたか。(複数回答可)

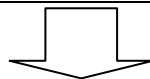
<誰に> 友達 34人 家族 5人 おばさん 1人

<どんなこと> できないことを手伝った 7人 落としたものを拾った 7人
遊んだ 6人 励ました 4人 物を貸した 4人 など

意識調査から、人から親切にしてもらったことがあると答えた児童がほとんどであったが、自分が誰かに親切にした意識は若干低いことが分かった。やさしくしてもらったり、やさしくしてあげたりした経験は比較的多いものの、それが本当に相手を思いやる気持ちからの行動とは言えない部分がある。また、親切にしたことやされたことがないと答えた児童やその内容を記述できなかった児童は、「人に親切にする」ということが具体的にどうすることなのか想起することができないために、人に親切にしようとする意識も薄いと考えられる。

総合単元の構想

段階	時期	意識の流れ	教科	特別活動	日常生活	家庭・地域
出 会 う	10月 2週	<ul style="list-style-type: none"> ・友達っていいな。 ・みんなで一緒に遊んだり、勉強したりするのが楽しいな。 ・みんなにほめられるとうれしいな。 	<p>オリエンテーション「ともだちといっしょ」 友達との活動の写真を配置したページから、友達のよさ、楽しさ、大切さを感じ取らせる。(心のノート P38-39)</p>			
	10月 4週	<ul style="list-style-type: none"> ・友達が困っているときには助けをあげよう。 ・友達の気持ちを考えてやさしくしてあげたいな。 ・みんなにほめられるとうれしいな。 ・友達がやさしくしてくれたよ。みんなにも教えたいな。 	<p>国語「くじらぐも」 ・学級の友達と集団で喜びを共感する楽しさを味わわせる。</p>	<p>学級活動(ほめられるとうれしいね) ・エンカウンターの活動を通して、友達や自分のよさを積極的に見つけ、仲よくしていこうという気持ちを持たせる。</p>	<p>休み時間(集団遊び) ・長縄跳びやごっこ遊びを通して、団で遊ぶ楽しさを感ずる。</p>	<p>心のノート P40-41 ・友達からの励ましの言葉を記録することによって、友達のよさを感じ取らせる。</p>
	11月 2週	<ul style="list-style-type: none"> ・友達はもちろん、小さな子にもやさしくしようね。 ・困っている人が助かって喜んでいるのを見ると、自分もうれしくなるね。 ・自分だけでなく、小さい子にも楽しんでもらおう。 ・家族のみんなにも楽しんでもらおう。 	<p>道徳の時間(本時) 主題名 友達を思う心 2-(3)友情・信頼、助け合い 資料名 「二わのことり」(出典：学研) ねらい 友達同士互いに思いやりをもち、仲よくしていこうとする心情を育てる。</p>			
深 め る	10月 4週	<ul style="list-style-type: none"> ・友達がやさしくしてくれたよ。みんなにも教えたいな。 	<p>生活「できるようになったよ」 ・幼稚園を訪問し、自分達の成長を伝えるとともに、小さい子のお世話をさせる。</p>	<p>親切の木 ・お互いのよさを見つけ、認め合えるようにさせる。</p>	<p>心のノート P34-35 ・身近な人たちにどのようなことができるかを考え、交流活動への意欲を高めさせる。</p>	
	11月 2週	<ul style="list-style-type: none"> ・友達はもちろん、小さな子にもやさしくしようね。 ・困っている人が助かって喜んでいるのを見ると、自分もうれしくなるね。 ・自分だけでなく、小さい子にも楽しんでもらおう。 ・家族のみんなにも楽しんでもらおう。 	<p>道徳の時間 主題名 親切な心で 2-(2)思いやり、親切 資料名 「はしのうえのおおかみ」(出典：東書) ねらい 身近な人たちに温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。</p>			
	11月 2週	<ul style="list-style-type: none"> ・友達はもちろん、小さな子にもやさしくしようね。 ・困っている人が助かって喜んでいるのを見ると、自分もうれしくなるね。 ・自分だけでなく、小さい子にも楽しんでもらおう。 ・家族のみんなにも楽しんでもらおう。 	<p>生活科「年長組さんを招待しよう」 ・年下の子どもたちと思いやりのある態度で交流できるように取り組ませる。</p>	<p>学級活動「収穫祭の計画を立てよう」 ・招待する家族のことを考えて、みんなが楽しめるように準備させる。</p>	<p>心のノート P36-37 ・温かい心のもった行いができるように、家族から励ましの言葉をいただく。</p>	
生 か す	11月 2週	<ul style="list-style-type: none"> ・友達はもちろん、小さな子にもやさしくしようね。 ・困っている人が助かって喜んでいるのを見ると、自分もうれしくなるね。 ・自分だけでなく、小さい子にも楽しんでもらおう。 ・家族のみんなにも楽しんでもらおう。 	<p>学級活動「収穫のお祝いしよう」 ・収穫祭を通して、温かい心でみんなと仲よく生活するよさを感じ取らせる。</p>			
	11月 2週	<ul style="list-style-type: none"> ・友達はもちろん、小さな子にもやさしくしようね。 ・困っている人が助かって喜んでいるのを見ると、自分もうれしくなるね。 ・自分だけでなく、小さい子にも楽しんでもらおう。 ・家族のみんなにも楽しんでもらおう。 	<p>学級活動「収穫のお祝いしよう」 ・収穫祭を通して、温かい心でみんなと仲よく生活するよさを感じ取らせる。</p>			



身近な人たちとあたたかい心で接するやさしい子ども

本時の指導

- 1 主題名 親切な心で 2 - (2) 思いやり、親切
- 2 資料名 「はしのうえのおおかみ」 (出典:「みんななかよく」東書)

3 ねらい

身近な人たちにあたたかい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。

4 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

指導内容低学年の2 - (2)は、「身近にいる幼い人や高齢者に温かい心で接し、親切にする。」と示されている。「思いやり、親切」は、他の人に接するときの基本姿勢に関するものであり、相手に対する思いやりや親切な心をもち実践できる児童を育てようとする内容項目である。これは、中学年の「相手のことを思いやり、親切にする。」や、高学年の「だれに対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にする。」に発展していく。

低学年の子どもたちは、本質的にはやさしい心をもっているが、まだ自己中心的な面が残っており、友達の気持ちを十分に考えずに行動してしまうことが見受けられる。しかし低学年の子どもたちにとっても、人に親切にして相手に喜ばれたり、ありがとうのお礼を言われたりしたときの充実感や感動は大きい。

本時は、「深める」段階の「道徳の時間」として、「出会う」段階でつかんだ「友達同士思いやりをもって」という気持ちと、総合単元で組んだ活動をかかわらせながら、だれにでも親切にしようとする気持ちへと広げていきたい。そして、相手の立場になって考えやさしくしたり親切にしたりすることが、相手を快い気持ちにするだけでなく、自分にとっても喜びとなることに気付かせたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態について

学級の子どもたちは、学級活動「今日のはなまるさん」や「親切の木」を通して、友達のよいところを見つけ、認め合う活動をしてきている。そして集団遊びや体育でのゲーム遊びを通して、友達関係を広げてきた。また最近では幼稚園を訪問し、年下の子と遊ぶ交流体験も行ってきた。

しかし、まだまだ自己中心的な傾向が強く、自分のことで精一杯なため、相手の立場に立って考え理解した上での行動にはなっていない。親切にすることがよいことであると分かっているが、実践に結びつかないのが現状である。また、いつも親切にしていると思っても、気分によってしたりしなかったり、親しい友達にのみになる傾向が見られる。そこで本時では、どんな人に対しても自然に親切にしていこうとする心情を高めさせていきたい。

(3) 資料について

本資料は、自分より弱い動物たちに意地悪をして面白がっていたおおかみが、強くて大きなくまに親切にされたことをきっかけに、親切にすることの素晴らしさに気づき、自分自身を振り返るといふ話である。

動物の出てくる童話のような内容のこの資料は、空想的な想像の世界に興味をもっている1年生にとって、意欲的に学習でき、主人公の気持ちに共感できる適切な資料である。場面ごとに変化していくおおかみのものの見方、感じ方、考え方などに共感させることを通して、親切にすることの大切さに気付かせたい。

5 「心に響く道徳の時間」における指導法の工夫(仮説・・・手立て2とのかかわり)

ねらいに迫るために、次のような手立てを考えた。

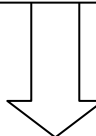
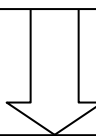
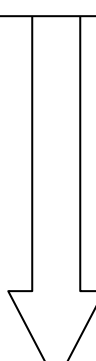

<役割演技を取り入れた展開の工夫>

- ・おおかみがうさぎを追い返す場面とくまに抱き上げられた場面において、役割演技をさせることで、変化していくおおかみのものの見方、考え方に共感させ、ねらいとする価値へ迫りたい。

6 資料分析

場 面	登場人物の心の動き	子どもの意識	発問の意図 / 発問
<p>おおかみは、自分より弱くて小さい動物に対して、一本橋でおせんぼうをしていた。</p> <p>大きなくまが一本橋に立っていたので、おおかみは慌てて道をゆずろうとした。</p> <p>一本橋でくまに会ったが、くまはおおかみを抱き上げ、下ろしてくれた。おおかみは、くまの後ろ姿をいつまでも見送った。</p> <p>また通りかかったうさぎを、おおかみはくまと同じようにして抱き上げ、渡らせてあげた。おおかみは、前よりずっといい気持ちになった。</p>	<p>(おおかみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくはとても強いんだぞ。 ・意地悪をして楽しいな。 ・なんて弱虫の動物たちなんだろう。 <p>・ぼくより強そうだな。</p> <p>・なんだか怖いな。</p> <p>・意地悪されたいやだな。</p> <p>・道をゆずろうかな。</p> <p>・やさしいくまさんだな。</p> <p>・なんて親切なんだろう。</p> <p>・ぼくって意地悪だったな。</p> <p>・くまさんのようにすればよかった。</p> <p>・これからはみんなにやさしくしたいな。</p> <p>・いいことをしたなあ。</p> <p>・うさぎさんも喜んでくれたよ。</p> <p>・親切にすると気分がいいな。</p> <p>・これからはみんなにやさしくしてあげよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おおかみさんは動物の中でも強いんだな。 ・いい気分だろうな。 ・ずいぶんいばっているな。 ・意地悪をされていていいのかな。 ・大丈夫かな。 ・おおかみさんはどうするんだろう。 ・くまさんには橋をゆずるのではないかな。 ・くまさんはおおかみさんを助けてあげたよ。 ・くまさんはやさしいな。 ・おおかみさんは驚いたんじゃないかな。 ・これでどちらも橋を渡ることができたね。 ・いいことをしたね。 ・おおかみさんも、くまさんのようにやさしくなろうと思っただろうね。 ・これで小さくて弱い動物たちとも仲よくできるね。 ・動物たちもおおかみさんと仲よくなるだろうな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分より弱い者を見下し、相手のことを考えずに意地悪をしているおおかみの気持ちをとらえさせる。 <p>どんな気持ちで「もどれもどれ」と言っている動物たちを追い返したのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分より大きく力の強いくまと出会って慌てているおおかみの、臆病な気持ちに共感させる。 <p>大きなくまに気付いたとき、どんなことを思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分とは違うくまのやさしさに接し、おおかみが親切にすることの大切さに気付いたことをとらえさせる。 <p>くまの後ろ姿を見送りながら、おおかみはどんなことを思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おおかみの心の変化をとらえさせ、進んで親切にしたときのすがすがしい気持ちに十分共感させる。 <p>おおかみが前よりずっといい気持ちだったのは、どうしてでしょう。</p>

7 展 開

段階	学習の流れ	予想される児童の反応	支援の手立てと評価の観点
導入 5分	1 親切にされてうれしかった経験を発表し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物をした時に貸してもらった。 ・けがをした時助けてくれた。 ・遊びに誘ってくれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級で取り組んでいる掲示「親切の木」を参考に、今までの活動や体験を想起させ、価値への方向付けを図る。
展 開 前 段 25分	2 資料「はしのうえのおおかみ」を読み、話し合う。		<ul style="list-style-type: none"> ・役割演技 において自分より弱い動物に対して面白がって意地悪しているおおかみの気持ちをとらえさせたい。 ・自分より大きく力の強いくまと出会って慌てているおおかみの臆病な気持ちに共感させたい。 ・役割演技 において、おおかみが自分より大きいくまに親切にされる場面を演じさせ、弱い者がやさしく接してもらったときのほのぼのとした気持ちを実感させたい。また自分を振り返っているおおかみの心の変容をとらえさせ、ねらいとする価値に迫りたい。 ・おおかみとくまの役割を交代し異なった立場を体験させることで、両者の立場を対比させたい。 ・おおかみの心の変化をとらえさせ、進んでうさぎに親切にしたときのすがすがしい気持ちに十分共感させたい。 (評) おおかみの心の変化をとらえることができたか。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> おおかみは、どんな気持ちで「もどれもどれ」と言って動物たちを追い返したのでしょうか。 </div> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは強いんだぞ。 ・意地悪をして楽しいな。 ・なんて弱虫の動物たちなんだろう。 	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 大きなくまに気付いたとき、おおかみはどんなことを思ったでしょう。 </div> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼくより強そうだな。 ・なんだか怖いな。 ・道をゆずろうかな。 	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> くまの後ろ姿を見送りながら、おおかみはどんなことを思ったでしょう。 </div> 	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしいくまさんだな。 ・なんて親切なんだろう。 ・ぼくは意地悪だったな。 ・くまさんのようにすればよかった。 ・ぼくもみんなにやさしくしよう。 	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> おおかみが前よりずっといい気持ちだったのは、どうしてでしょう。 </div> 	<ul style="list-style-type: none"> ・いいことをしたから。 ・やさしくしてあげたから。 ・親切にしてあげたから。 	
展開後段 10分	3 本時の価値に照らして、これまでの自分を振り返る。		<ul style="list-style-type: none"> ・親切にしてもらった児童がいたら、そのときの気持ちを聞き、お互いがすがすがしい気持ちになることにもふれさせたい。 (評) 人に温かい心で接し、親切にしようとする気持ちが高まったか。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> だれかにやさしく親切にしたことがありますか。そのときどんな気持ちになりましたか。 </div>		
終末 5分	4 教師から親切についての話を聞く。		<ul style="list-style-type: none"> ・児童の日頃やさしく親切にしていた様子を紹介し、今後の意欲付けをしたい。

8 評 価

身近な人たちに温かい心で接し、親切にしようとする気持ちが高まったか。

9 板書

あたたかいこころ

はしのつえのおおかみ

挿絵

挿絵

挿絵

挿絵

挿絵

「きんぎょだわ」

おおきなくみにきついた

くまのつしろすがたをみおくれた

まえよりずっといいきもちになった

しんせつにするじょう

・ いいことをしたから
 ・ やさしくしてあげたから
 ・ しんせつにしてあげたから

・ やさしいくまさんだな
 ・ なんてしんせつなんだろう
 ・ ぼくはいじわるだったな
 ・ ぼくもみんなにやさしくしよう。

・ ぼくよりつよそつだな
 ・ なんだかこわいな
 ・ みちをゆずろうかな

・ ぼくはつよいんだぞ
 ・ いじわるをしておもしろいな
 ・ なんてよわむしのどつぶつたちだ

10 道徳ノート

あたたかいこころ

はしのつえのおおかみ

ねん くみなまえ

だれかに、やさしくしんせつにしたことがありますか。

そのとき、どんなきもちになりましたか。

がくしゅうのふりかえり

おともだちのかがえをよくきけましたか。

よくきけた ()

きけた ()

もうすこし ()